

平成29年10月20日

四国地域の経済動向（概要）
（平成29年8月分）

～四国地域の経済は、一部に弱い動きがあるものの緩やかな持ち直しの動きがみられる～（→）
（一部に弱い動きがあるものの緩やかな持ち直しの動きがみられる）

生産（→） 鉱工業生産は、一進一退で推移している。（弱含みで推移）
鉱工業生産指数は、前月比が3カ月連続の上昇となった。

個人消費（→） 個人消費は、持ち直しの動きとなっている。（持ち直しの動き）
百貨店・スーパー販売額（全店）は、4カ月ぶりに前年を上回った。
コンビニエンスストア（全店）の販売額等は、54カ月連続で前年を上回った。
家電大型専門店販売額は、2カ月連続で前年を上回った。
乗用車新車新規登録・届出台数は、10カ月連続で前年を上回った。

住宅投資（→） 新設住宅着工は、持ち直しの動きとなっている。（持ち直しの動き）
新設住宅着工戸数は、3カ月連続で前年を上回った。

倒産（→） 企業倒産は、落ち着いた動きがみられる。（落ち着いた動き）
倒産件数は2カ月連続で前年を下回り、負債総額は4カ月ぶりに前年を下回った。

雇用（→） 雇用情勢は、改善している。（改善している）
有効求人倍率は3カ月ぶりに上昇し、一般新規求人数は7カ月連続で前年を上回った。

公共工事（↘） 公共工事は、弱い動きがみられる。（増加の動きに一服感）
公共工事請負金額は、2カ月ぶりに前年を下回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。（ ）内は前月の基調判断を記載している。

【四国の経済指標】

平成29年8月

	四 国		全 国	
	前月比 (%)	前年同月比 (%)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
鉱工業生産指数 (平成22年=100、季節調整済 前年同月比は原指数)	101.8	3.9	103.6	5.4
鉱工業出荷指数 (〃)	100.8	5.4	101.8	5.8
鉱工業在庫指数 (〃)	101.3	▲ 0.4	107.2	▲ 3.0
百貨店・スーパー販売額 (単位：億円) (全店) (既存店)	423	▲ 0.9	15,655	0.6
乗用車新車新規登録 ・届出台数 (単位：台)	8,992	4.5	290,816	4.1
新設住宅着工戸数 (単位：戸)	2,025	3.3	80,562	▲ 2.0
輸出通関額 (単位：億円)	694	20.2	62,786	18.1
輸入通関額 (単位：億円)	965	10.9	61,659	15.2
企業倒産件数 (単位：件)	10	▲ 41.18	639	▲ 11.98
有効求人倍率 (季節調整済)	1.50 (前月差)	0.03	1.52 (前月差)	0.00
公共工事請負金額 (単位：億円)	480	▲ 15.1	11,494	▲ 7.9

(本発表資料のお問い合わせ先)
四国経済産業局総務企画部調査課長 範囲
担当者：岡崎、田中
電話：087-811-8509 (直通)
URL：<http://www.shikoku.meti.go.jp/>

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。

管内経済指標の推移

